C　学位授与・課程修了の認定

1　学位授与

（1）修士　博士の各々の学位の授与状況と学位の授与方針・基準の適切性

現状の説明

授与状況は，大学基礎データ「II　教育研究の内容・方法と条件整備」「4　大学院における学位授与状況」に示している。博士前期課程については，論文の完成度と発表会での状況により研究科委員会において授与判定の審査を行っている。また，論文の概要を公開している。

後期課程については，対外的な論文の発表状況が重要な基準のひとつになっており，研究科委員会において慎重な審査を実施している。

点検・評価　長所と問題点　将来の改善・改革に向けた方策

後期課程論文公聴会は，すべての審査終了後に実施しているが，公開審査の重要性が指摘されており，現在審査手順の見直しを実施している。

（2）学位審査の透明性・客観性を高める措置の導入状況とその適切性

現状の説明

後期課程では主査，副査以外に複数の審査委員からなる論文審査委員会を設置し，その審査結果を研究科委員会が受ける形で最終的な判定をしている。専門分野における学位審査の透明性・客観性を高めるために，審査委員として本大学外の研究者の就任を奨励しており，いままでの事例でもほとんどの場合，外部機関からの審査委員が加わっている。

点検・評価　長所と問題点

外部機関からの審査委員が加わることは，学位審査の透明性・客観性を高めることにつながるが，委員会の開催時期の調整が難しく，討論に費やされる時間が制限されることが問題点としてあげられる。